

誰もが安心して
自分らしく健やかに暮らせる
「よこはま」をみんなでつくろう

よこはま笑顔プラン

第4期横浜市地域福祉保健計画

計画期間：2019(平成31)年度－2023(平成35)年度



第4期横浜市地域福祉保健計画の策定にあたって

我が国は、人口減少社会に入り 10 年が経ち、超高齢社会に突入しています。横浜市でも、2019 年をピークに人口が減少に転じ、2025 年には 65 歳以上の人口が 100 万人に迫ると見込まれるなど、これまでに経験したことの無い大きな転換点を迎えようとしています。

地域の中で住民同士のつながりが希薄化し、個々の課題が複雑化・多様化している中で、地域住民や地域の多様な主体が分野を越えて横断的につながり、“地域福祉保健の力”を一層高めていくことが求められています。

そこでこのたび、平成 31 年度から 35 年度までの 5 年間を計画期間とする「第 4 期横浜市地域福祉保健計画」を、新たに策定しました。

第 2 期計画より全国に先駆けて取り組んできた地区別計画の策定・推進を基盤とした地域づくりや、第 3 期計画で進めてきた、様々な世代が地域福祉保健活動に参加しやすい環境づくりをはじめとした取組など、横浜市では、地域での取組が活発に行われ着実に発展してきました。第 4 期計画では、これまで築き上げてきた成果を土台に、地域人材の育成や成年後見制度の利用促進など、地域共生社会の実現に向けて、地域福祉保健の取組をより一層推し進めていきます。

本計画で掲げる「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるよこはま」の実現にあたっては、行政はもとより、市民の皆様や各関係機関・団体の皆様、事業者の皆様の主体的な参画と、多様な主体間における連携の強化・協働が、必要不可欠です。引き続き、皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

むすびになりましたが、本計画の策定にあたり御尽力いただきました、横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会の委員の皆様、パブリックコメントなどを通じて多くの貴重な御意見・御提案をいただきました市民の皆様や関係機関・団体の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

横浜市長 林 文子



身近な地域のつながり・支えあいの推進に向けて

横浜市社会福祉協議会（横浜市社協）では、第3期横浜市地域福祉保健計画において「一人ひとりの暮らしを身近な地域で支えること」、そのために「地域におけるつながりや支えあい活動を充実していくこと」に重点を置いて取り組んできました。

地域には様々な立場や背景のある人が暮らし、一人ひとりに思いや願いがあります。また、一人ひとりが暮らす地域の状況も、それぞれに異なります。

横浜市においては、超高齢社会の進展に加え、人口減少も予想されており、地域の変化を見据えながら、複雑化・多様化する課題へ対応していくことが必要です。

こうした中で、計画を通じて目指す「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるよこはま」を実現していくため、あらためて、一人ひとりの個別性に寄り添いながら支援するとともに、地域ごとの特徴を強みとして捉えて地域づくりを進めていくことが重要です。

第4期計画では、これまでの基本的な方向性を踏まえ、より身近な圏域で、地域のつながり・支え合いが推進されるよう、困りごとのある人の支援体制づくりや地域づくりに向けた取組を、地域住民の皆様、関係機関・団体の皆様との協働により進めていきます。

また、横浜市社協のネットワークを生かし、地域の課題解決を通じて企業や協同組合など福祉保健分野に限らない機関・団体とのつながりを広げ、連携体制の構築による支援の仕組みづくりに取り組んでいきます。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、熱心に御議論いただいた横浜市地域福祉保健計画・策定推進委員の皆様をはじめ、たくさんの御意見をお寄せくださいました市民、団体の皆様にご心よりお礼申し上げます。

そして、計画に基づく取組の推進につきましても、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月
社会福祉法人
横浜市社会福祉協議会
会長 大場 茂美



地域福祉保健計画で横浜のコミュニティをさらに元気に

横浜市の地域福祉保健計画もとうとう第4期計画が策定されました。第1期から策定に関わり、またいくつかの区でも関わってきた者として、大きな感慨があります。

このあいだに、地域福祉保健計画は大きな発展を遂げましたし、また他方で地域包括ケアなど国の新しい政策的動向や社会変化による新しい課題の登場、さらにそれらに対応した横浜市民たちの新しい取組など、様々な変化もありました。

こうして巻頭のご挨拶を執筆するに当たり、今回の計画書を読み返して、あれも触れたいこれも触れたいとの思いが湧いてきますが、一方、これまでの10年以上の福祉保健計画の歩みを振り返りつつ自分としてどのようなことを策定の議論に参加して感じたのかを素直に書くことも大切ではないかとも思いました。

そう考えますとまず、今や地域福祉保健計画は、横浜の福祉保健の各分野を地域という視点で横串を通して通底させる基本的な計画であるだけでなく、およそ横浜市の地域コミュニティの発展についての基本的な計画としての性格を帯びてきていることを感じています。直接担当しているのは市の健康福祉局と横浜市社会福祉協議会ですが、他の局なども地域福祉保健計画に関心を払い、注目しています。また、区役所でも、地域に働きかけようというときには、区政推進課と地域振興課のほか福祉保健課が必ず関わって、地域福祉保健計画を意識しながら事業を推進していると思います。また、各地域においても地区別計画が策定され、自治会町内会や地区社協をはじめとして様々な団体や住民の方々が、地域福祉保健を通じた地域づくりに取り組んでいます。

地域福祉保健が横浜の地域社会づくりの軸になることにより、福祉の理念が市民の共通理解となり市民文化となるならば、なんと素晴らしいことでしょうか。そうした社会に向かって、この第4期計画でも前進があったと思います。

地域コミュニティを研究対象としている私にとって特に印象深いのは、地域の中でも単位自治会町内会の圏域に目を向けて、きめ細かく地域福祉保健の取組や人材の発掘・育成を考えていく方向が打ち出されたことです。

また、計画の評価についても大きな前進がありました。前委員長である故 森本佳樹先生が心血を注いでご指導くださったことを事務局が熟考してこなし、また各区において、場合によっては地区別計画について各地域の推進母体でも、毎年計画の評価に取り組んできた実践が生かされ、評価の手法がほぼ確立したと思います。

第3期までの計画を実践してこられた地域の皆様、区役所・区社協・地域ケアプラザの皆様、市役所・市社協の皆様、そのほか関係の専門機関の皆様、この第4期の計画も「支援的計画」として座右において、横浜の福祉保健と地域を一層発展させていきましょう。

平成31年3月

横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会
委員長 名和田 是彦



第1章 第4期横浜市地域福祉保健計画の策定に当たって 1

1 地域福祉保健計画について	2
(1) 地域福祉保健計画の策定・推進の経過	2
(2) 地域福祉保健とは	2
(3) 地域福祉保健計画の策定の趣旨	3
(4) 地域福祉保健計画の推進における「自助」、「共助」、「公助」の連携	3
2 第3期市計画の概要・振り返り	4
(1) 第3期市計画のねらい	4
(2) 取組の方向性	4
(3) 成果	4
(4) 第4期計画に引き継がれる課題	4
3 地域福祉保健を取り巻く状況の変化	5
(1) 社会状況の変化と「地域共生社会」づくり	5
(2) 国における法改正・制度の見直しの状況	5
(3) 横浜市の現状と中期的課題	6
4 計画の構成について	8
(1) 市計画・区計画・地区別計画の関係	8
(2) 圏域の考え方	9
5 第4期市計画について	11
(1) 計画の位置付け	11
(2) 計画期間	18
(3) 基本理念	18
(4) 計画の基礎となる共通の考え方	18
(5) 第4期計画の5つの特徴	19
(6) 市民の皆様と共に取り組んでいくこと	20

第2章 推進のための取組 23

1 第4期計画の方向性	24
2 第2章の見方	26
推進の柱1 地域福祉保健活動推進のための基盤づくり	27
〈柱1-1〉地域力（地域の強みを生かした課題解決力）の向上に向けた支援の充実	28
〈柱1-2〉地域福祉保健活動を推進する関係組織・団体への支援	34
〈柱1-3〉誰もがお互いを受け入れ、共に支え合う意識の啓発と醸成	40
〈柱1-4〉地域福祉保健活動の推進のための人材育成と環境づくり	46

推進の柱 2 身近な地域で支援が届く仕組みづくり	55
〈柱 2-1〉見守り・早期発見の仕組みづくり	56
〈柱 2-2〉連携・協働による地域の生活課題を調整・解決する仕組みの充実	62
〈柱 2-3〉身近な地域における権利擁護の推進	70
〈柱 2-4〉幅広い住民層が取り組む地域の健康づくり活動の充実	76
〈柱 2-5〉支援が届く仕組みをつくり、機能させるための環境づくり	80
推進の柱 3 幅広い市民参加の促進、多様な主体の連携・協働の推進	83
〈柱 3-1〉幅広い市民参加の促進	84
〈柱 3-2〉多様な主体の連携・協働による地域づくり	90
〈柱 3-3〉幅広い市民参加、多様な主体の連携・協働を促進するための環境づくり	96

第 3 章 計画の推進に当たって 101

1 計画の推進体制	102
(1) 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会【附属機関】	102
(2) 横浜市地域福祉保健計画・横浜市地域福祉活動計画検討会 【市社協との連絡調整会議】	102
(3) 関係局区検討プロジェクト	102
(4) 横浜市健康福祉局と横浜市社会福祉協議会の基本的な役割分担	102
2 計画の評価方法	103
(1) 各年度の取組の振り返り	103
(2) 計画の評価時期	103
(3) 評価内容・手順	103
(4) 評価と社会状況の変化や他の施策等との関係について	104

資料編 105

1 横浜市の状況（統計データ）	106
2 横浜市地域福祉保健計画の検討経過	131
3 パブリックコメントの実施結果	132
4 「具体的な取組」推進に向けた市及び市社協の主な施策・事業	133
5 関係法令（抄）条文	147
6 用語解説	152
7 横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員名簿 （平成 29・30 年度）	158

